

新幹線西九州ルートについて！
公共下水道等について！

田崎議員 (1) 企画商工行政について

新幹線西九州ルートは国の18年度予算も付き、並行在来線の問題が解決すると着工されると聞いているが、新大村駅を現大村駅に併設できないのか。予定通り新大村駅ができると現大村駅に計画の上駅通り再開発事業は失敗するのではないかと。白島は18年位前に市が当時の大村市農協から購入しているが、何か観光面などでの活用策はないのか。

雄ヶ原のオフィスパーク大村と大村ハイテクパークの進出企業数と雇用者数は。
(2) 都市整備行政について

生活排水対策について、本市は早くから公共下水道建設に取り組み、南部流域下水道や農業集落排水事業などが完備し現在の普及率は約94%と県下12市の中で最も進んでいる。高速道路の上、竹松、福重松原地区の一部が未整備地区であるが、あと何年ぐらいで完了する予定ですか。

市長 (1) 新駅については既に決定事項であるので変更は不可能である。大村市の顔としての現大村駅周辺の中心市街地を、歴

史を生かした生活観のあるまちとして、新駅はビジネスや観光を中心とする交流拠点としてのまちとして、そしてそれをリンクさせ発展させていかなければならないと考える。

長崎大学の調査で貴重な自然が残されているという報告があつている。その自然を活用した憩いの場や、海洋レジャーなどの観光開発など様々な構想はあるが、自然と開発の共生や経済的な面など課題は多い。今後多方面の方の意見を聞きながら2、3年のうちに方向性を見出せるよう努力したい。

オフィスパークは5社で分譲率約56%、ハイテクパークは約95.5%で、現在建設中の企業



白島

の予定を含めると雇用者数は約3千名である。

都市整備部長 (2) 厳しい財政状況のなか事業は遅れており平成32年度完了予定である。平成17年度からは従来の補助に併せ、地域再生計画に基づく汚水処理施設整備交付金の活用を図りながら未整備地区の整備を進めている。

「ハウス栽培農家に対する
助成について」
「野岳湖堤体改修工事について」

村上議員 農林水産行政について

ハウス栽培農家に対する助成について、例年になく寒波の到来により、特にハウス栽培のいちごやトマト、きゅうり、花などの農作物に低温の影響が及び、減収は避けられない状況です。暖房機に要する燃料費の急騰や燃料消費の増量は、特に目を見張るものがあります。市長は本市の基幹産業である農業に対して、特にご理解を示されているものと思います。そこで市独自の助成をするべきではないのか、お考えをお聞かせ願います。
野岳湖堤体等改修工事について
2月末県・市側より受益者役員の方々に対し、「基本設計説明会」が開催された。以前か

ら問題点であった3年間の休耕期間が1年間に短縮されたことは大きな進歩であったが、受益者の反応は賛否両論であった。そこで、原案である前刃金工法にとらわれず、休耕を無くす最も良い施工方法を検討されるお考えはないのか。

農林水産部長 県央農協で重油1ℓ当たり3円の補助をしている。市としては農家の方の生産資金等に利用するための預託金を農協に預けているのでそれを活用していただきたい。

市長 発言を重く受け止め、今後協議したい。

できるだけ工期が短期間になるように県に要望している。また可能な限り農業用水の確保に努めたい。今後地元関係者や県と十分協議を行い早期着工に向け努力したい。

農林水産部長 全く休耕なしの改修というのは不可能ではないかと考える。また農林省の採択要件の関係で工法が限定されている。しかし、今提案があったものを含め、今後地元と一体となつて農業用水を有効活用しながら極力休耕、転作しない方法を検討し、県と協議していきたい。
(その他の質問事項)
・海上自衛隊大村航空基地(地先埋立て)について